

# 「賛同できる」21人

がれき広域処理

伊賀市議 アンケート 「賛同できない」は4人

【伊賀】伊賀青年会議所（伊賀JC）は二十一日、震災がれきの広域処理に関する伊賀市議会議員へのアンケート結果を発表した。震災がれきの広域処理に対し、二十一人が「賛同できる」とし、四人が「賛同できない」、三人が「どちらとも言えない」と答えた。

一方、震災がれきを伊賀市内に受け入れるかとの問いに対し、「受け入れてもよい」と答えたのは十六人で、広域処理に賛同できるとした議員より五人減少。

八人が「検討中」とした。「受け入れたくない」と答えた四人の議員は理由として、「政府を信頼できず、住民の生命や健康に対して責任を持つことができない

い」「安全性が確認できない」「放射線があれば問題になる」などと答えた。

議員からはこのほか、「一日も早くがれきを受け入れ、復興の手助けをすべき」と、受け入れに賛成する意見や「行政に相当な情報公開が必要」などと、説明の機会が必要とする意見のほか、「政府の原発事故や放射能汚染への姿勢を信

頼できない」として反対の意見も寄せられた。

アンケートは、同JCが今後の復興への取り組みに役立てることを目的に、無記名で実施。先月上旬、同市議会議員二十八人に送付し、十三日までに全員の回答を得た。同JCは市民へのアンケートも実施中で、八月中には結果発表の予定。（海住真之）